



# LIBRARY

いわき総合高校図書委員会 平成28年2・3月号



## 今月のオススメ📖



### 《深い河 ディープ・リバー》 著者：遠藤 周作

今年度最後のオススメは、遠藤周作さん最晩年の作品『深い河 ディープ・リバー』を紹介します。5月号の新刊案内の欄で触れましたが、直木賞作家の西加奈子さんと芥川賞作家の又吉直樹さんが、ともに影響を受けたという本です。

小説の舞台はインド。タイトルにある“深い河”とは、ガンジス河のことです。それぞれの事情を抱え、インド仏跡訪問ツアーに参加した人々の物語です。

いわき市出身（生まれは静岡県）の秋吉久美子さん主演で映画化もされています。

### 余談

この小説は遠藤周作さんが、黒人霊歌の『深き河』にインスパイア（触発）され書いたといわれています。ちなみに、こちらの“深い河”は、ヨルダン川のことだそうです。遠藤周作さんには、さまざまな“顔”がありました。文豪としての顔、ユーモア小説や『ぐうたら生活入門』等の爆笑エッセイで見せる顔……。また、コーヒーのCMに出演したり、素人劇団“樹座”（キザ）を主宰するなど多才な方でした。

今年で没後20年になります。お亡くなりになったとき、生前のご本人の遺志で『沈黙』と『深い河』の2冊が棺に納められたそうです。ご本人にとって『深い河』は、特別な作品だったんですね。

日本とインドの文化や宗教の違いについて知るにはいい本です。社会の教科書には載っていないインドが見えてくると思います。また、“生と死”について考えさせられる本です。ちょっと背伸びをして読んでみませんか。



## 図書館からのお願い

**3年次生でまだ本を借りたままになっている人は速やかに図書館へ返してください。**

1・2年次生についても、現在借りている本は一旦返却してください。借りた本は必ず返して、卒業式・終業式を迎えましょう。

※ 借りた本を紛失した場合は、必ず図書館司書の吉田先生まで申し出てください。



## LIBRARY

～図書だより～

今年度最後の「図書だより」になります。1年間ご愛読ありがとうございました。

耐震工事に伴い、図書館が遠くなりました。不便をかけておりますが、生徒の皆さんに少しでも多く本を読んでいただきたく、本の紹介に努めています。学校図書館への要望や図書の購入希望等については、随時受け付けておりますので、司書の先生へ申し出てください。

# 先生のオススメ

# 総集編

発行月	紹介いただいた先生	タイトル・著者名	生徒へひと言
5月号	永瀬 雄次 先生	<b>ニンゲルの森</b> ⇒ 倉本 聡	 自分は国語科の人間ですが、活字以外に漫画、写真集、絵本等ジャンルを選ばないことが多いです。アニメも特撮もドラマも映画も観ます。勿論音楽も聴きます。それらの原点は全て「図書」です。サブカルチャーから「文化」を感じて下さい。
6月号	瀬谷 貢一 先生	<b>遠野物語</b> ⇒ 柳田 國男	 夜になると夏、暗闇で、テレビもパソコンもスマホ・携帯もない時代に、岩手遠野地方で、自然や信仰、妖怪たちと暮らしていた人々の素敵な生活を味わってください。
夏休み号	大和田 好倫 先生	<b>スタンドオフ黄金伝説</b> ～日本ラグビーを切り拓いた 背番号10～ ⇒ 永田 洋光	 「食事は身体の栄養、本は心の栄養」と誰かが言っていた。その通りだと思う。本を読むことで、自分以外の人間の考えを学ぼう。
9月号	渡邊 順 先生	<b>星の王子さま</b> ⇒ サン＝テグジュペリ	 こども向けの本と思われがちですが、とっても深く、でもとってもシンプルな、大人になるための本です。人間関係とかに悩んでいる人は、よかったら読んでみてください。※「本当に大事なことは〇〇なんだよ」 〇〇の答え ⇒ <u>目に見えないんだよ!</u>
10月号	横田 潤 先生	<b>面白くて眠れなくなる数学</b> ⇒ 桜井 進	 本書は、数学嫌い・苦手の人でも楽しく読める内容である。ぜひ手にとって、自分の気になるテーマから読みすすめてはいかがでしょうか。
11月号	渡辺 英和 先生	<b>若きウェルテルの悩み</b> ⇒ ゲーテ	 典型的な三角関係の物語ととらえられがちな本作品ですが、あまりに純粋で、社会になじめない人の苦悩を描いているともいえるのではないのでしょうか。大人になるとは、社会的成熟とは何なのかについて、ぜひ考えをめぐらせてほしいと思います。

図書日より『LIBRARY』編集部より

5月から11月までの毎月、先生方のとうておきの一冊を紹介してきました。一冊の本との出会いが、本を読むきっかけに、好きになるきっかけにもなります。生徒の皆さんには、ぜひ紹介していただいた本を手にして欲しいなあ～と思います。掲載させていただいた先生方には、お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。“先生のオススメ”は来年度も継続していきたいと思います。